令和　　年　　月　　日

上越教育大学第一種奨学金返還免除内定申請の要件に係る確認書

受験番号		課程	専門職　・　修士	氏名	

１．家計状況について

第一種奨学金返還免除内定申請をするにあたり、家計状況については以下のとおりであることに相違はありません。

	続柄	氏　　名	年齢	現在の職業	勤務先
生計維持者					
	父又は母が　死亡　・　生別　・　無職　誰が（　　）　その年月（ 昭和　・　平成　・　令和　　年　　月）				
	理由（　　）				
本人	続柄	氏　　名	年齢	出身大学の学校名	
	本人			立	

２．日本学生支援機構給付奨学金の利用状況について

第一種奨学金返還免除内定申請をするにあたり、日本学生支援機構給付奨学金の利用状況については、以下のとおりであることに相違はありません。

①日本学生支援機構給付奨学金の利用状況について、該当する項目（A～C）に「○」をしてください。
※どの項目にも当てはまらない方は申請対象外です。

A　現在、日本学生支援機構給付奨学生であり、授業料減免または奨学金給付を受けている。
【⇒②の設問へ】

B　現在、日本学生支援機構給付奨学生であるが、支援は「停止中」である。
【⇒③の設問へ】

C　現在、日本学生支援機構給付奨学生ではない。（過去に廃止となった者を含む。）
【⇒④の設問へ】

② ①にて「A」を選択した方は、支援区分を記入してください。

令和8年10月以降の支援区分	

★スカラネット・パーソナルの「詳細情報」より支援区分を確認し、画面のコピーを提出してください。

③ ①にて「B」を選択した方は、該当する理由を選択してください。
※スカラネット・パーソナルの「詳細情報」より「停止中」の理由を確認してください。

支援が「停止中」の理由	□家計基準非該当のため。	申請対象外
	□家計基準は該当しているものの、資産超過「有」のため。	申請対象外
	□学力基準非該当のため。	**申請対象者**

★学力基準非該当により停止中の学生も申請対象者となります。スカラネットパーソナルの「詳細情報」より支援区分を確認し、画面のコピーを提出してください。

④ ①にて「C」を選択した方は、別紙「資産の申告書」を本紙と併せて提出してください。

（記入例）

令和　　年　　月　　日

上越教育大学第一種奨学金返還免除内定申請の要件に係る確認書

受験番号	100000	課程	専門職 ・ 修士	氏名	上越　太郎

1．家計状況について

第一種奨学金返還免除内定申請をするにあたり、家計状況については以下のとおりであることに相違はありません。

	続柄	氏　名	年齢	現在の職業	勤務先
生計維持者	父	上越　一郎	54	会社員	株式会社●●●
	母	上越　花子	50	無職	
	父又は母が　死亡 ・ 生別 ・ 無職　誰が（　）　その年月（ 昭和 ・ 平成 ・ 令和　年　月） 理由（　）				
本人	続柄	氏　名	年齢	出身大学の学校名	
	本人	上越　太郎	23	国立　▲▲大学	

2．日本学生支援機構給付奨学金の利用状況について

第一種奨学金返還免除内定申請をするにあたり、日本学生支援機構給付奨学金の利用状況については、以下のとおりであることに相違はありません。

①日本学生支援機構給付奨学金の利用状況について、該当する項目（A～C）に「○」をしてください。
※どの項目にも当てはまらない方は申請対象外です。

A　現在、日本学生支援機構給付奨学生であり、授業料減免または奨学金給付を受けている。
【⇒②の設問へ】

B　現在、日本学生支援機構給付奨学生であるが、支援は「停止中」である。
【⇒③の設問へ】

C　現在、日本学生支援機構給付奨学生ではない。（過去に廃止となった者を含む。）
【⇒④の設問へ】

② ①にて「A」を選択した方は、支援区分を記入してください。

令和8年10月以降の支援区分	第Ⅲ区分（多子世帯）

★スカラネット・パーソナルの「詳細情報」より支援区分を確認し、画面のコピーを提出してください。

③ ①にて「B」を選択した方は、該当する理由を選択してください。
※スカラネット・パーソナルの「詳細情報」より「停止中」の理由を確認してください。

支援が「停止中」の理由	□家計基準非該当のため。	申請対象外
	□家計基準は該当しているものの、資産超過「有」のため。	申請対象外
	□学力基準非該当のため。	**申請対象者**

★学力基準非該当により停止中の学生も申請対象者となります。スカラネットパーソナルの「詳細情報」より支援区分を確認し、画面のコピーを提出してください。

④ ①にて「C」を選択した方は、別紙「資産の申告書」を本紙と併せて提出してください。